

# あいがも屋通信

No 170 春の足音号



三寒四温、朝は氷点下、昼は15度のぼかぼか陽気を繰り返しながら春が近づいています。種もみも届き、3月末からは温湯による消毒、種まきと併せて、水路掃除、田起こしなど田植えに向けての準備が着々と進行中です。気合入れていくぞー

## ドローンの導入への道

今さらですが、夫婦でドローン講習を受けて無事合格しました。

5日間の講習で大変でしたが、これから導入や運用に向けてまず一歩です。思えば、撮影用ドローンを飛ばしてきたのですが技術の進歩は著しく安全性やコストを鑑みて、やっと導入に踏み切りました…といいたいところですがメーカーさん曰く機体が届くのは来年になりそうで、まだまだ道は険しいです。



造って、作って、創ってまいります

1年越しのDIYがほぼ完成しました。ほぼというも端っこの隠しや養生、水回りが未完なのですがそれはおいおいというわけで、農繁期も始まるのでとりあえず居住できる状態で新生活スタートです。

このDIY技術を活かして、こんどは牛の飼料倉庫を建造予定です。雪も降る地域なので強度を勉強しながら建設します。

## 祝！卒業！！そして春からは・・・

娘が中学校を卒業し、春からは地元の農業高校に合格し、進学が決まりました。幼いころ、こっそり忍び込んだ事務所で「働かない奴はクビだー」と、社長ごっこをしていた娘ですが、食品工学科で加工と経営を学ぶべく新たな旅立ちです。

(写真はホワイトデーでラスクを作っている様子) 食べることの大切さと楽しさを学んでほしいです。

息子1号は自動車整備士2級の受験です。  
息子2号は中学2年生、毎日5キロの道のりを自転車漕いで通っています。

がんばれ！子供たち！！



有機農業や里山で生きる人をテーマに写す写真家、山岡三和さんの写真展が大阪で開催されていることをたまたま新聞記事で知ったのですが、調べれば調べるほど、この風景見覚えがある。

というのも、三和さんのお父さんの田んぼは、わが社で小作させていただいて「農地の出し手の思いはどう映っているのだろう」という不安もあり、出張の際、見に行ってきました。

会場では、さびれゆく里山をそれでもと、草を刈り、家を整理する山岡のお父さんを中心に描かれ、思いや人の手の力強さを感じるいい写真でした。

手間暇かかる中山間の農地はどうしても手が至らぬ点が増えますが、それでも信じて待っていてくれる人がいるそれを思い出させてくれる展示会でした。

